自律分散システムシンポジウム（タイトル）

○本郷 太郎（東京大学），東京 花子（東京農工大学）

Instruction for SICE DAS Symposium Manuscript

○Taro HONGO (The Univ. of Tokyo), and Hanako TOKYO (Tokyo Univ. of Agriculture and Tech.)

Abstract: This manuscript describes a method for preparing a manuscript for the DAS Symposium.

Keywords: Decentralized autonomous systems, Systems and information, Manuscript

1　緒言

本稿では自律分散システムシンポジウムの予稿原稿を作成するための説明を行います．自律分散システムシンポジウムでは予稿原稿としてPDFファイル形式のファイルを電子投稿していただく事を原則とさせていただいております．ただし，電子化やネットワーク接続が困難な場合には個別に対応させていただきますので，シンポジウム事務局までご相談下さい．

2　原稿作成方法

2.1 原稿枚数，ファイル形式とファイル容量

原稿は通常セッションの場合1講演につき6ページ以内（1ページも可），萌芽セッションの場合1講演につき2ページ以内（同じく1ページも可）となります．提出していただく原稿のファイル形式は原則としてPDF　形式といたします．PDF形式とすることが不可能な場合には，シンポジウム事務局にご連絡ください．また，原稿完成時のファイルサイズはPDF形式で10MB程度を上限の目安とさせていただきます．

2.2 用紙サイズ，書式など

2.2.1 原稿の体裁

用紙サイズはA4版（縦297mm×横210mm）とし，余白部分は左右15mm，上20mm，下27mmを確保して下さい．（実行委員会側でフッタ部分に情報やページ番号を追加する予定ですので，ご注意下さい．）よって，原稿作成領域は縦**250mm**×横**180mm**の枠内となります．

2.2.2 基本書式

原稿の記載内容は，下記の順序とします．

1. 和文題名（英文原稿の場合には不要，16pt ゴシックフォント推奨，センタリング）
2. 和文著者名・所属（英文原稿の場合には不要，12pt　明朝フォント推奨，センタリング，登壇者に○を付加）
3. 英文題目（16pt Times-RomanBold 推奨，センタリング）
4. 英文著者名・所属（12pt　明朝フォント推奨，センタリング，登壇者に○を付加）
5. 英文アブストラクト（9pt　Times-Roman 推奨，10行以内，文章両側を10mm 程度インデント）
6. 英語キーワード（9pt　Times-Roman 推奨，3～5語，文章両側を10mm程度インデント）
7. 本文（本文文章は10pt 明朝フォント推奨，章見出しは12～10pt程度のゴシックフォント推奨）
8. 参考文献（10pt 明朝フォント推奨）

なお，1)～6)の英文アブストラクトの部分までを1段組，7)および8)の本文からを2段組として下さい．

2.2.3 図と表について

予稿は電子ファイルで配布されるため，カラーの図表でも可ですが，全体ファイルサイズの制限にはご注意下さい．図のキャプションは図の下にFig. 1，Fig. 2という具合に，表のキャプションは表の上にTable 1，Table 2という具合にお付け下さい．（英語表記，フォントは10pt Times-Roman 推奨）

3　結言

本稿はあくまで予稿原稿を作成するためのガイドラインを示したものです．改行幅やフォントの設定などについては，原稿の内容や量にあわせて適宜判断していただき，原稿を作成してください．

参考文献

[1] 著者：題目，雑誌名，巻，号，始ページ/終ページ（年）

[2] 著者：書名，始ページ/終ページ，発行所名（年）